ソフト事業

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業№. 1

1 基本項目

事務事業名	芸術文化振興事業			担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
予算事業名	芸術文化振興事業				係名	生涯学習・文化係
新規・継続区分	継続事業				電話番号	0765-23-1045
事務区分	自治事務			予算科目	会計	一般会計
事業期間	開始年度	不明	終了年度	当面継続	款	教育費
総合計画 目標名	目標２．未来につなぐまち				項	社会教育費
総合計画 政策名	政策07．誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				目	文化費
総合計画 施策名	施策15．芸術文化・スポーツの振興			総合計画主な事業		記載あり（評価対象）
総合計画 基本事業名	基本事業15－１．芸術文化活動の推進			総合戦略との関連		関連なし
根拠法令				集中プランとの関連		関連なし
ＤＸ導入状況	導入予定なし			評価対象年度の重点事業		非該当

2 事業概要

事業概要	・市民に優れた音楽・舞台芸術等の鑑賞機会を提供し、文化芸術の裾野の拡大と振興を図る。 ・市民文化祭の開催により各種文化団体・個人に対して普段の活動に対する発表の場を提供する。 ・新川学びの森天神山交流館について、令和4年度よりIMF㈱に建物を貸与し、宿泊棟及び体育館を富山みらい学園未来高等学校が使用。音楽棟部分を運営する一般社団法人にいかわ学びの森みらい会議と教育委員会の3者が連携し、交流館及び地域の活性化のための事業に対する支援を通し芸術文化の振興を図る。(一社)にいかわ学びの森みらい会議が開催する「学びの森音楽祭」等に支援を行う。
対象	施設、施設利用者、市民、各種団体等
手段（活動指標）	・学びの森みらい会議が実施する、学びの森活性化事業や教育機関での出前コンサートや音楽指導等について支援を行う。学びの森音楽祭やとやま室内楽フェスティバルを支援する。 ・芸術文化団体や中学校文化連盟に補助金を交付し、活動を支援する。文化事業の後援・共催、文化芸術団体との連絡調整を行う。
意図（成果指標）	・市民に対し、身近に音楽を親しめる環境を作り出すことで、活気と潤いをもたらす。小中学生に対し、専門家による直接指導により、音楽に対する関心を高めるとともに、演奏技術をアップさせる。 ・発表の場を提供することで、市民の文化活動への意欲を高める。

3 指標

	活動指標名・成果指標名	単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動	① 国県等の補助事業開催数	件	1	1	2	1	50.0%	1
活動	② 学びの森交流館で実施した企画数	件	23	27	30	19	63.3%	30
成果	① 学びの森交流館で実施した企画に対する参加者数	人	2,056	2,176	2,300	2,255	98.0%	2,300
成果	② 市民文化祭の参加人数	人	2,984	3,152	3,200	2,855	89.2%	3,200

4 コスト情報

区分		単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費	事業費合計（A）	円	14,361,836	14,281,946	12,902,000	12,789,172	0	-10.5%	27,401,000
事業費 財源内訳	①国庫支出金	円	0	0	0	0	0		0
事業費 財源内訳	②県支出金	円	0	0	0	0	0		0
事業費 財源内訳	③地方債	円	0	0	0	0	0		0
事業費 財源内訳	④その他（使用料、雑入等）	円	7,585,390	2,268,641	8,789,000	654,883	0	-71.1%	12,339,000
事業費 財源内訳	⑤一般財源	円	6,776,446	12,013,305	4,113,000	12,134,289	0	1.0%	15,062,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	3	2	3	―	0.0%	3
人件費	②年間所要時間	時間	1,560	900	1,600	1,900	―	111.1%	2,000
人件費	③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	6,402,240	3,693,600	6,566,400	7,797,600	―	111.1%	8,208,000
総費用（A＋B）		円	20,764,076	17,975,546	19,468,400	20,586,772	0	14.5%	35,609,000

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

・学びの森の施設の維持管理に係る一部修繕を行った。（外構部分等）
・にいかわ学びの森みらい会議の実施する賑わい創出事業、学びの森音楽祭実行委員会、日米青少年国際ピアノ親善交流事業に対する事業の支援を行った。
　音楽に関する講座としては、青少年の吹奏楽の講座（4/19～20）、音楽愛好家を対象とした講習会(8/5～9)を実施した。
　演奏会は、池辺晋一郎講師による音楽講座（3/1）、図書館でのコンサート(4/19)、市民のためのクラシック講座「0歳からの音楽会」(5/31)、「Tanksクリスマスminiコンサート」(12/21)を開催した。
　小中学生のための音楽推進事業として、中学校合唱祭の事前指導、本番審査及び演奏、小学校卒業式に向けた歌唱指導を行った。
・小中学生を対象とした舞台芸術鑑賞会を実施した。（小学校：TEAM Performance Lab、中学校：谷桃子バレエ団）
・芸術文化団体や中学校文化連盟に補助金を交付し、活動を支援した。
・文化事業の後援・共催の承認手続きを行った。

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	A	B	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
			② 目的の妥当性	1 妥当である
			③ 対象の妥当性	2 検討の余地あり
有効性	B	B	① 目標達成度	2 目標どおり
			② 類似事業の有無	2 検討の余地あり
			③ 上位施策への貢献度	2 普通
効率性	B	C	① コスト効率	2 普通
			② 実施主体の適正化	2 改善の余地あり
			③ 負担割合の適正化	2 改善の余地あり
結果(総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	

今後の方針			
○	現状を維持		事業の拡充
	事業の縮小		統合等の検討
	事業の休止		終了又は廃止

方針の説明等

Ｒ７年度末にＩＭＦ（株）が学びの森の運営から撤退することとなり、市はＲ８年度に限り施設の維持管理の実施及び新たな利活用者の募集を行う予定である。Ｒ８年度は、（仮）芸術文化振興計画を策定する予定であり、学びの森の活用方針も含めた今後の芸術文化振興の方向性を関係者を交えて考える予定である。

施設管理

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業No. 3

1 基本項目

事務事業名	新川文化ホール事業			課等名	生涯学習・スポーツ課
予算事業名	新川文化ホール事業			係名	生涯学習・文化係
新規・継続区分	継続事業			電話番号	0765-23-1045
事務区分	自治事務			会計	一般会計
事業期間	開始年度：平成６年度	終了年度	当面継続	款	教育費
総合計画 目標名	目標２．未来につなぐまち			項	社会教育費
総合計画 政策名	政策07．誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり			目	新川文化ホール費
総合計画 施策名	施策15．芸術文化・スポーツの振興			総合計画主な事業	記載あり（評価対象）
総合計画 基本事業名	基本事業15－１．芸術文化活動の推進			総合戦略との関連	関連なし
根拠法令				集中プランとの関連	関連なし
ＤＸ導入状況	導入予定なし			評価対象年度の重点事業	非該当

2 事業概要

事業概要	・(公財)富山県文化振興財団を指定管理者とし、施設利用者が快適かつ安全に使用できるよう管理運営を委託。また、多彩な事業の実施を促し鑑賞と参加の機会を広く市民に提供する。 ・新川文化ホールにおいて、児童・生徒に優れた音楽、本物の舞台芸術等の鑑賞機会を提供し、芸術文化により親しみと関心を深めてもらう。
対象	市民、各種団体等、市内中学２年生、市内小学５・６年生
手段（活動指標）	・（公財）富山県文化振興財団を指定管理者とし管理運営を委託。指定管理者において、施設維持管理や利用料金徴収業務のほか、多彩な自主企画事業や魅力ある市民文化祭・市美術展を実施する。 ・中学生舞台芸術鑑賞会（中学２年生対象）、小学生舞台芸術鑑賞会（小学５・６年生対象）を実施する。
意図（成果指標）	・施設利用者（市民・文化団体・アーティスト等）が快適かつ安全に利用できる施設を維持する。施設を利用することにより文化活動が充実する。文化の情報と交流の場を市民に提供し、市民文化の創造及び振興を図る。 ・芸術文化に対する興味が高まる。豊かな心や感性・創造性が育まれる。

3 指標

	活動指標名・成果指標名	単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動	① 利用件数	件	2,791	2,693	3,000	2,569	85.6%	3,000
活動	② 利用料金	円	15,809,473	15,171,130	16,000,000	14,460,350	90.4%	16,000,000
成果	① 企画事業の延べ入場者（参加者）数	人	20,931	25,132	26,000	28,485	109.6%	26,000
成果	②							

4 コスト情報

区分		単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費	事業費合計（A）	円	99,649,778	120,171,350	180,204,000	97,314,772	60,738,000	-19.0%	89,751,000
事業費 財源内訳	①国庫支出金	円	0	16,000,000	29,751,000	0	29,744,000	-100.0%	0
事業費 財源内訳	②県支出金	円	0	0	0	0	0		0
事業費 財源内訳	③地方債	円	19,800,000	34,400,000	27,900,000	0	29,500,000	-100.0%	10,300,000
事業費 財源内訳	④その他（使用料、雑入等）	円	293,723	312,401	220,000	339,944	0	8.8%	220,000
事業費 財源内訳	⑤一般財源	円	79,556,055	69,458,949	122,333,000	96,974,828	1,494,000	39.6%	79,231,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	2	2	2	—	0.0%	2
人件費	②年間所要時間	時間	540	500	800	800	—	60.0%	800
人件費	③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	2,216,160	2,052,000	3,283,200	3,283,200	—	60.0%	3,283,200
総費用（A＋B）		円	101,865,938	122,223,350	183,487,200	100,597,972	60,738,000	-17.7%	93,034,200

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

○基本協定書・年度協定書に基づき指定管理料を支払った。
○魚津市民文化祭（10月25,26日）、第65回魚津市美術展（11月1日～11月6日）を開催した。

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
			② 目的の妥当性	1 妥当である
			③ 対象の妥当性	1 妥当である
有効性	B	B	① 目標達成度	2 目標どおり
			② 類似事業の有無	1 なし
			③ 上位施策への貢献度	2 普通
効率性	B	B	① コスト効率	2 普通
			② 実施主体の適正化	1 適正である
			③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果(総括)	B	B	管理運営の進め方・内容について改善の余地あり	

今後の方針			
○	現状を維持		事業の拡充
	事業の縮小		統合等の検討
	事業の休止		終了又は廃止

方針の説明等

市民が多様な芸術文化に触れるとともに、地域の文化資質の向上に貢献する施設となるよう指定管理者と連携しながら事業を進めていく。また、施設の老朽化に伴い、大規模なものを含む修繕が増えており、指定管理者と協議しながら、計画的に修繕を進めていく必要がある。

ソフト事業

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業№. 12

1 基本項目

事務事業名	スポーツ選手等強化育成事業	担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
予算事業名	スポーツ選手等強化育成事業		係名	スポーツ係
新規・継続区分	継続事業		電話番号	0765-23-1046
事務区分	自治事務	予算科目	会計	一般会計
事業期間	開始年度：不明　終了年度：当面継続		款	教育費
総合計画 目標名	目標２．未来につなぐまち		項	保健体育費
総合計画 政策名	政策07．誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり		目	保健体育総務費
総合計画 施策名	施策15．芸術文化・スポーツの振興	総合計画主な事業		記載あり（評価対象）
総合計画 基本事業名	基本事業15－２．スポーツ活動の推進	総合戦略との関連		関連なし
根拠法令		集中プランとの関連		関連なし
ＤＸ導入状況	導入済	評価対象年度の重点事業		非該当

2 事業概要

事業概要	競技スポーツ選手のレベルの向上を図るための取り組みを行う。 ①全国大会等へ出場した選手及び監督への奨励金の支給、②桑山賞の授与、③ジュニア選手（スポ少）の強化育成、指導者講習の補助の実施、④強豪選手・チームの招へいによるスポーツ教室の開催支援
対象	全国大会等へ出場した選手及び監督、スポ少等、競技スポーツ選手及び指導者
手段（活動指標）	・スポーツ指導者育成研修会の開催数
意図（成果指標）	・奨励金申請件数 ・全国大会（国民体育大会・全国高等学校総合体育大会・全国中学校体育大会）出場者数

3 指標

活動指標名・成果指標名	単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動 ① スポーツ指導者育成研修会の開催数	回	1	1	1	1	100.0%	1
活動 ②							
成果 ① 奨励金申請件数	件	215	196	200	201	100.5%	200
成果 ② 全国大会出場者数	人	142	135	100	104	104.0%	120

4 コスト情報

区分	単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費合計（A）	円	4,075,202	4,018,160	5,598,500	4,846,763	0	20.6%	3,654,000
事業費 財源内訳 ①国庫支出金	円							
事業費 財源内訳 ②県支出金	円							
事業費 財源内訳 ③地方債	円							
事業費 財源内訳 ④その他（使用料、雑入等）	円	1,758	48,986	298,000	298,000		508.3%	398,000
事業費 財源内訳 ⑤一般財源	円	4,073,444	3,969,174	5,300,500	4,548,763		14.6%	3,256,000
人件費 ①事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	4	－	0.0%	4
人件費 ②年間所要時間	時間	1,100	1,100	1,100	1,100	－	0.0%	1,100
人件費 ③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	4,514,400	4,514,400	4,514,400	4,514,400	－	0.0%	4,514,400
総費用（A＋B）	円	8,589,602	8,532,560	10,112,900	9,361,163	0	9.7%	8,168,400

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

・桑山スポーツ賞の授与（１個人）
・優良スポーツ指導者及びクラブの表彰
・スポーツ競技大会出場奨励金（全国大会等へ出場した選手や監督に対する奨励金の支給）
・全国大会等への出場者や優秀な成績を収めた選手を対象に市長表敬及び激励会を実施（３回）
・選手強化育成事業（ジュニア選手強化育成、スポーツ指導者育成研修会の開催支援）
・選手派遣補助事業（県大、北信越大会、全国大会出場へ出場した中学生に対する交通費等の補助）
・未来高校富山の甲子園初出場に伴う活動支援として激励金支給や、市民の応援機運の情勢のためのパブリックビューイングを実施

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
			② 目的の妥当性	1 妥当である
			③ 対象の妥当性	1 妥当である
有効性	A	A	① 目標達成度	1 高い
			② 類似事業の有無	1 なし
			③ 上位施策への貢献度	1 高い
効率性	A	A	① コスト効率	1 高い
			② 実施主体の適正化	1 適正である
			③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果(総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	

今後の方針			
○	現状を維持		事業の拡充
	事業の縮小		統合等の検討
	事業の休止		終了又は廃止

方針の説明等

スポーツ振興及び競技力向上を図るとともに、全国大会等へ出場する選手の負担軽減を図るため、奨励金の支給制度は必要と考えられ、他市との比較により制度見直しの検討を継続するとともに、先方の希望に応じて激励会の開催も検討する。
ジュニア育成に関しては、今後もスポーツ協会と連携し、効果的な取組となるよう実施する必要がある。

ソフト事業

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業№. 13

1 基本項目

事務事業名	スポーツコミッション事業			担当部署 課等名	生涯学習・スポーツ課
予算事業名	市民体育大会等開催支援事業			係名	スポーツ係
新規・継続区分	継続事業			電話番号	0765-23-1046
事務区分	自治事務			予算科目 会計	一般会計
事業期間	開始年度	令和3年度	終了年度	当面継続	款 教育費
総合計画 目標名	目標２．未来につなぐまち				項 保健体育費
総合計画 政策名	政策07．誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				目 保健体育総務費
総合計画 施策名	施策15．芸術文化・スポーツの振興			総合計画主な事業	記載あり（評価対象）
総合計画 基本事業名	基本事業15－２．スポーツ活動の推進			総合戦略との関連	関連あり（評価対象）
根拠法令				集中プランとの関連	関連なし
ＤＸ導入状況	導入予定なし			評価対象年度の重点事業	非該当

2 事業概要

事業概要	市、スポーツ団体、民間企業等が一体となってコミッションを設立し、スポーツによるまちづくり、地域活性化を推進するもの。 ①市民スポーツ大会の委託、②各種大会の支援（しんきろうマラソン大会、全日本大学女子野球大会、富山県青少年相撲選手権大会、TJAR（トランスジャパンアルプスレース）、富山トップチームふれあい事業等）、③「UO!SPO!」開催、④共生社会普及活動地業、⑤スポーツクリニック開催
対象	市民、スポーツ団体、企業、大会等参加者、関係者
手段（活動指標）	・市民体育大会夏季・冬季運営委託料 ・スポーツクリニックの開催数
意図（成果指標）	・しんきろうマラソン参加者数 ・全日本大学女子野球大会チーム数

3 指標

活動指標名・成果指標名		単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動	① 市民体育大会夏季・冬季運営委託料	円	1,950,000	1,750,000	1,750,000	1,750,000	100.0%	1,750,000
活動	② スポーツクリニック開催数	回	3	3	3	3	100.0%	3
成果	① しんきろうマラソン申込者数	人	3,553	4,247	5,000	4,537	90.7%	5,000
成果	② 全日本大学女子野球大会チーム数	チーム	13	13	15	14	93.3%	15

4 コスト情報

区分		単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費	事業費合計（A）	円	10,778,919	11,196,063	10,416,000	10,052,709	0	-10.2%	11,000,000
事業費 財源内訳	①国庫支出金	円							
事業費 財源内訳	②県支出金	円							
事業費 財源内訳	③地方債	円							
事業費 財源内訳	④その他（使用料、雑入等）	円	10,700,000	3,500,000	7,400,000	5,400,000		54.3%	11,000,000
事業費 財源内訳	⑤一般財源	円	78,919	7,696,063	3,016,000	4,652,709		-39.5%	
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	―	0.0%	3
人件費	②年間所要時間	時間	600	600	600	600	―	0.0%	600
人件費	③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	2,462,400	2,462,400	2,462,400	2,462,400	―	0.0%	2,462,400
総費用（A＋B）		円	13,241,319	13,658,463	12,878,400	12,515,109	0	-8.4%	13,462,400

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

・市民スポーツ大会事業補助
・市民体育大会運営及び県民体育大会選手派遣業務
・しんきろうマラソン補助（４月27日開催、4,537名参加）
・全日本大学女子野球選手権大会補助（８月22日～26日開催、14チーム・15校参加）
・パナソニックスポーツクリニック開催（バレーボール６月21日・22日開催、ラグビー７月18日～20日開催、野球10月11日・12日開催）
・トランスジャパンアルプスレース事業（８月31日講演会開催）

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
			② 目的の妥当性	1 妥当である
			③ 対象の妥当性	1 妥当である
有効性	A	A	① 目標達成度	1 高い
			② 類似事業の有無	1 なし
			③ 上位施策への貢献度	1 高い
効率性	A	A	① コスト効率	1 高い
			② 実施主体の適正化	1 適正である
			③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果(総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	

今後の方針

○ 現状を維持	事業の拡充
事業の縮小	統合等の検討
事業の休止	終了又は廃止

方針の説明等

市民スポーツ大会、マラソンや女子野球等の全市規模の大会の開催経費に対して運営補助を行うことは適当と考える。マラソンは、引き続きtoto助成金の活用により単費を補うが、女子野球の単費を補う財源確保が課題である。また、クリニックでのトップ選手による指導は、選手・指導者のレベル向上に非常に効果が高く、今後も充実に努めたい。

施設管理

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業№. 15

1 基本項目

事務事業名	体育施設管理事務			担当部署 課等名	生涯学習・スポーツ課
予算事業名	体育施設管理費			係名	スポーツ係
新規・継続区分	継続事業			電話番号	0765-23-1046
事務区分	自治事務			予算科目 会計	一般会計
事業期間	開始年度	昭和32年	終了年度	当面継続	款 教育費
総合計画 目標名	目標２．未来につなぐまち				項 保健体育費
総合計画 政策名	政策07．誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				目 体育施設費
総合計画 施策名	施策15．芸術文化・スポーツの振興			総合計画主な事業	記載あり（評価対象）
総合計画 基本事業名	基本事業15－２．スポーツ活動の推進			総合戦略との関連	関連なし
根拠法令				集中プランとの関連	関連あり（評価対象）
ＤＸ導入状況	導入済			評価対象年度の重点事業	非該当

2 事業概要

事業概要	スポーツ施設の適正な維持管理、利用者サービスに努め、有効的な利用促進を図り、市民の健康増進及び誰もが気軽にスポーツに親しめる環境を整備するもの。 ①対象施設：魚津テクノスポーツドーム、温水プール、弓道場、吉田グラウンド、天神山野球場、魚津桃山運動公園 ②平成18年度から指定管理者制度による維持管理、運営（現在の事業者は（公財）魚津市スポーツ協会）
対象	市民、管理施設（魚津テクノスポーツドーム、温水プール、弓道場、吉田グラウンド、天神山野球場、魚津桃山運動公園）
手段（活動指標）	・（公財）魚津市スポーツ協会を指定管理者として指定管理料を支払い、管理運営を実施 ・指定管理施設の大規模修繕（300千円以上は協議により市対応）の実施
意図（成果指標）	・指定管理施設の利用者数の増加

3 指標

活動指標名・成果指標名	単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動 ① 施設修繕（300千円以上）	件	2	2	2	2	100.0%	2
活動 ② 指定管理委託料	円	186,485,031	191,414,476	153,474,000	169,556,711	110.5%	203,108,000
成果 ① 対象スポーツ施設の利用者数	人	301,559	329,683	400,000	333,355	83.3%	400,000
成果 ②							

4 コスト情報

区分	単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費合計（A）	円	216,397,342	252,634,299	327,652,000	315,173,835	2,750,000	24.8%	356,291,000
事業費 財源内訳 ①国庫支出金	円							
事業費 財源内訳 ②県支出金	円							
事業費 財源内訳 ③地方債	円	4,600,000	63,000,000	55,700,000	54,100,000		-14.1%	122,700,000
事業費 財源内訳 ④その他（使用料、雑入等）	円	6,789,667	4,889,352	15,530,000	10,999,979		125.0%	17,357,000
事業費 財源内訳 ⑤一般財源	円	205,007,675	184,744,947	256,422,000	250,073,856	2,750,000	35.4%	216,234,000
人件費 ①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	－	0.0%	3
人件費 ②年間所要時間	時間	1,400	1,400	1,400	1,400	－	0.0%	1,400
人件費 ③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	5,745,600	5,745,600	5,745,600	5,745,600	－	0.0%	5,745,600
総費用（A＋B）	円	222,142,942	258,379,899	333,397,600	320,919,435	2,750,000	24.2%	362,036,600

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

・学校体育施設の夜間開放利用実績（延べ30,138人・▲2,901人、収納額1,226,900円・▲266,450円）
・旧小学校体育施設の日中開放等利用実績（延べ21,049人・▲903人、収納額691,950円・＋23,100円）
・体育施設の指定管理（魚津テクノスポーツドーム、温水プール、弓道場、吉田グラウンド、天神山野球場、魚津桃山運動公園）
・指定管理施設の30万円以上修繕等（魚津桃山運動公園２件）
・桃山野球場ラバーフェンス広告料収入（20区画・500千円）
・スポーツ施設長寿命化計画策定に基づく修繕・工事（魚津テクノスポーツドーム４件、魚津桃山運動公園２件）
・新築した室内温水プールの業務委託による維持管理（令和７年度のみ）

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
			② 目的の妥当性	1 妥当である
			③ 対象の妥当性	1 妥当である
有効性	A	A	① 目標達成度	1 高い
			② 類似事業の有無	1 なし
			③ 上位施策への貢献度	1 高い
効率性	A	A	① コスト効率	1 高い
			② 実施主体の適正化	1 適正である
			③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果(総括)	A	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	

今後の方針			
○	現状を維持		事業の拡充
	事業の縮小		統合等の検討
	事業の休止		終了又は廃止

方針の説明等

スポーツ施設長寿命化計画に基づき、施設管理者と情報交換しながら、計画的・効果的な維持管理を実施する。財源には、可能な範囲でtoto助成金を活用するとともに、ネーミングライツ導入など新たな財源確保に努める。令和８年度からは新プールを含むスポーツ施設一括での指定管理を開始し、施設間の連携強化により更なる利用促進を図る。